

10月は「がん検診受診率 50%達成に向けた集中キャンペーン月間」・「ピンクリボン月間」です



市公式LINE

今年のがん検診のご予約はお済みでしょうか？

日本人のおよそ2人に1人が生涯において一度はがんになると推計されております。禁煙、健康的な食事、適度な運動といった生活習慣の改善である程度予防はできますが、ゼロにはなりません。そこで、重要なポイントとなるのが「早期がん」の状態で見つけてあげのためにがん検診を受けることです。

「早期」とは、がんの種類にもよりますが、がんが粘膜の表面近くにとどまっている、大きさ1～2センチ程度までの時期を指し、ほとんどのがんで痛みなどの自覚症状が出ません。「早期がん」を見つけるには、がん検診を受けることが近道です！そして、「早期」の治療につなげましょう。

自分のため、家族のために検診に行きましょう！

市公式LINEでは24時間いつでもご予約を受け付けています！

乳がんのセルフチェックをしていますか？

本市では、毎年1～2人程度の方が乳がんで亡くなられています。

乳がんは、自分で発見できる唯一のがんです。月経終了4～5日目、閉経後は月初めやお誕生日など日にちを決めて、セルフチェックを行いましょう。

ちょっとでも違和感を感じたら、早めの医療機関受診をお願いします。

乳がんのセルフチェック？
どうやって？



乳がん セルフチェック

令和6年度結核バス検診（2次）のお知らせ

10、11月に今年度2回目の結核検診を実施します。65歳以上の方は、法律によって結核検診を年1回受けることが義務付けられています。対象者は必ず受診をお願いします。

令和4年度の結核罹患率（10万人あたり）

全国	宮崎県	日南保健所管内	串間市
8.2	8.0	12.3	18.6

串間市は、宮崎県や全国と比較しても10万人あたりの結核罹患率が高い状態です！！

特に高齢者ははっきりとした症状が表れにくいので、**毎年の結核検診受診が重要**です。

●未受診の方（ご連絡いただいた方などは除く）に水色の「結核2次バス検診 受診票」を9月下旬に発送しています。

お 願 い

病院や職場検診で胸部レントゲン検査済み、または検査予定の方（令和6年4月1日～令和7年3月31日）は今回受診する必要はありませんので、下記にご連絡ください。

令和6年度 結核バス検診（2次）日程表

5～7月の結核検診（1次）で受診できなかった方が対象です。

日にち	会 場	時 間
10/9 (水) ★リフト車 ♿	市木選果場	10:00~10:20
	農村環境改善センター	11:00~11:20
	上町(幸せホームあすか)	13:30~13:50
	串間市文化会館(正面玄関前)	14:05~14:20
10/18 (金) ★リフト車 ♿	串間市役所 (正面玄関前駐車場)	14:35~14:50
	揚原(スーパーケンちゃん)	10:00~10:20
	旧日本城支所前駐車場	11:10~11:30
	西浜(ミネサキ串間店)	13:30~13:50
10/23 (水) ★リフト車 ♿	市宮寺里さくら住宅裏の敷地	14:05~14:25
	串間市総合保健福祉センター	14:40~15:00
	グループホームみずなら	9:30~10:10
	串間温泉いこいの里	10:30~10:50
11/3 (日・祝)	道の駅くしま (商工会議所付近駐車場)	11:30~11:50
	JAMホール (大東商店街駐車場)	13:40~14:00
	農村環境改善センター	14:30~14:50
	市木選果場	15:30~15:50
11/3 (日・祝)	秋祭り会場(国旗掲揚台付近) ※秋祭り会場の駐車場をご利用ください。	9:00~12:00

受診者数や交通状況により、時間に遅れが出る場合がありますがご了承ください。

★リフト車 ♿: 車いすの方でも受診可能です。

～市民病院からのお知らせ～

串間市民病院における皮膚科診療について

宮崎大学医学部
感覚運動医学講座
皮膚科学分野

あまの まさひろ
教授 大野 正宏



串間市民の皆さま、こんにちは。宮崎大学皮膚科の天野正宏です。

私は串間市の隣町である鹿児島県志布志市の出身です。串間市には親戚が居ましたし、また志布志高校時代には串間市から多くの同級生が志布志に通学していました。私の友人の中には串間市の出身者も多く、学生時代にはよくマルチョンラーメンや高松海水浴場へ遊びに行った記憶もあり、今でも友人とはメールや年賀状で連絡を取り合っています。私がここ串間市で地域医療に関わることができるのも、何か不思議なご縁みたいなものを感じています。

2000年代初頭まで串間市民病院皮膚科には、鹿児島大学皮膚科から派遣された皮膚科専門医(常勤)が診療をしておりました。しかし鹿児島大学からの派遣が難しくなり、代わりに宮崎大学が非常勤ではありますが、皮膚科診療を引き継ぐことになりました。もちろん当時は高速道路もなく、通勤時間もだ

いぶかりましたが、地域医療に貢献すべくこれまで20数年間、診療を続けています。現在、宮崎大学皮膚科の持田耕介講師と私の2人が交代で、毎週木曜日に終日、串間市民病院で皮膚科診療を行っています。

“皮膚は内臓の健康を映し出す鏡”ともいわれており、内臓の問題が皮膚症状として現れることがあります。串間市民病院では内科の先生方と皮膚科との連携がうまく取れています。また超高齢者時代を迎えたわが国においては、皮膚がんも他のがんと同様に増加傾向にあります。皮膚がんは初期には症状が少なく、進行してから症状が現れることが多いため、早期発見が重要です。串間市民の皆さまに対し私たちは皮膚科専門医として、最先端の医療を提供すべく頑張っております。日常生活で皮膚疾患や何か皮膚のトラブルなどありましたら、遠慮なく串間市民病院皮膚科を受診していただけたらありがたいです。

